

戦評

大会名 第74回青森県高等学校総合体育大会バレーボール競技

日 時 令和3年6月5日～7日

会 場 マエダアリーナ

女子決勝（6月7日）

$$\underline{\text{青森西高等学校}} \quad 2 \quad \left\{ \begin{array}{c} 28-26 \\ 25-10 \end{array} \right\} \quad 0 \quad \underline{\text{三沢商業高等学校}}$$

ファーストレフリー

津 嶋 由 香

セカンドレフリー

工 藤 雄 也

決勝は3年連続16回目の優勝を目指す青森西高校（以下青西）と、3年ぶり4回目の優勝を目指す三沢商業高校（以下三商）の対戦となった。

第1セット序盤、青西はセッター角谷が全選手に効果的に打たせて加点するのに対し、三商は濱澤、根岸を中心に加点し互角の展開。途中青西が中田と宮古のスパイクで抜け出し、11対8で三商1回目のタイムアウト。三商は濱澤のスパイクですぐに追いつくが、青西も澤野のスパイクを中心にシーソーゲームが展開される。青西が中田のスパイクで再び抜け出し、17対14で三商2回目のタイム。三商も根岸のスパイクで加点し3点差以内でゲームは進んでいく。終盤青西は中田のスパイクで加点しセットポイントをとるが、三商は根岸のスパイクが連続で決まり25対24で逆転する。しかし、青西もツーアタックで追いつき、最後は平山のサイド攻撃が決まり、28対26で青西が第1セットを先取する。

第2セット序盤、三商は濱澤、青西は中田のスパイクでお互いに加点しゲームは進んでいくが、青西中田のサーブが三商を崩し、青西がリードを広げ8対4で三商1回目のタイムアウト。その後も中田のサーブで青西がリズムを作り、リードを広げ11対4で三商2回目のタイムアウト。三商は根岸のスパイクで加点するが、青西のブロックが効果的に機能し、澤野のスパイクも決まり差を広げていく。三商も濱澤のスパイクで加点するが、青西小林の連続サービスエースもあり差は広がり、最後は青西下山のブロックが決まり25対10で青西が3年連続16回目の優勝を決めた。

戦評者 村元 直記